

テンプレートのソース

この2箇所がブロックになります

```

<body>
  <div id="banner">
    <h1><a href="http://example.com/" >サンプルソース</a></h1>
  </div>
  <div block:id="sampleblock">
    <h2 class="title" cms:id="title">ここがタイトルに書き換わる</h2>
    <h3>関係ない見出し</h3>
    <p id="p_1" cms:id="content">ここが本文に書き換わる</p>
    <p cms:id="more">ここが追記に書き換わる</p>
  </div block:id="sampleblock">
  <table>
    <tr>
      <th>A</th>
      <th>B</th>
      <th>C</th>
      <th>D</th>
    </tr>
    <tr block:id="sampleblock2">
      <td cms:id="title">タイトル</td>
      <td cms:id="content">本文</td>
      <td cms:id="more">追記</td>
      <td>全部同じ</td>
    </tr block:id="sampleblock2">
  </table>
</body>

```

登録されているエントリー

エントリーA

タイトル…エントリーその1表題
本文…エントリーその1本文
追記…エントリーその1追記
ラベル…「テストラベル1」 「テストラベル2」

エントリーB

タイトル…タイトル2です
本文…本文2です
追記…追記その2です
ラベル…「テストラベル3」

エントリーC

タイトル…第三エントリー
本文…三番目の本文
追記…三番目の追記
ラベル…「テストラベル3」

① block:id="sampleblock"をエントリー単体ブロックに設定し、エントリーAを指定する。

cms:idが追加されているタグから、対応する終了タグまでの間書き換えの対象になります。



```
<div block:id="sampleblock">  
  <h2 class="title" cms:id="title">ここがタイトルに書き換わる</h2>  
  <h3>関係ない見出し</h3>  
  <p id="p_1" cms:id="content">ここが本文に書き換わる</p>  
  <p cms:id="more">ここが追記に書き換わる</p>  
</div block:id="sampleblock">
```



書き換え後

```
<div>  
  <h2 class="title">エントリーその1表題</h2>  
  <h3>関係ない見出し</h3>  
  <p id="p_1">エントリーその1本文</p>  
  <p>エントリーその1追記</p>  
</div>
```

1. block:idは開始タグ、終了タグ両方に指定する必要があります。cms:idは開始タグだけに追加すればOKです。
2. テンプレートエディタのWYSIWYGモードを利用される場合には、block:idはタグに指定するのではなく、コメントタグを用いて
`<!--block:id="****"-->～<!--/block:id="****"-->`
という書式で指定してください。
3. block:id、cms:idは削除されます。その他の属性は削除されません。
4. cms:idが指定されているタグには含まれた領域は全て、エントリーの中身に書き換えられます。
5. cms:idが指定されていない部分は、テンプレートがそのまま表示されます。

②block:id="sampleblock2"をエントリー繰返しブロックに設定し、ラベル3を指定する。

cms:idが追加されているタグから、対応する終了タグまでの間書き換えの対象になります。



```
<tr block:id="sampleblock2">  
  <td cms:id="title">タイトル</td>  
  <td cms:id="content">本文</td>  
  <td cms:id="more">追記</td>  
  <td>全部同じ</td>  
</tr block:id="sampleblock2">
```



書き換え後

```
<tr>  
  <td>第三エントリー</td>  
  <td>三番目の本文</td>  
  <td>三番目の追記</td>  
  <td>全部同じ</td>  
</tr>  
<tr>  
  <td>タイトル2です</td>  
  <td>本文2です</td>  
  <td>追記その2です</td>  
  <td>全部同じ</td>  
</tr>
```

1. block:idは開始タグ、終了タグ両方に指定する必要があります。cms:idは開始タグだけに追加すればOKです。
2. テンプレートエディタのWYSIWYGモードを利用される場合には、block:idはタグに指定するのではなく、コメントタグを用いて
`<!--block:id="****"-->～<!--/block:id="****"-->`
という書式で指定してください。その場合、block:id指定に利用したコメントは削除されます。
3. block:idが指定されているタグ自体も繰返し表示されます。
4. block:id、cms:idは削除されます。その他の属性は削除されません。
5. cms:idが指定されているタグには含まれた領域は全て、エントリーの中身に書き換えられます。
6. cms:idが指定されていない部分は、テンプレートがそのまま繰返し表示されます。

公開側で出力されるページのソース

```
<body>
  <div id="banner">
    <h1><a href="http://example.com/" >サンプルソース</a></h1>
  </div>
  <div>
    <h2 class="title">エントリーその1 表題</h2>
    <h3>関係ない見出し</h3>
    <p id="p_1">エントリーその1 本文</p>
    <p>エントリーその1 追記</p>
  </div>
  <table>
    <tr>
      <th>A</th>
      <th>B</th>
      <th>C</th>
      <th>D</th>
    </tr>
    <tr>
      <td>第三エントリー</td>
      <td>三番目の本文</td>
      <td>三番目の追記</td>
      <td>全部同じ</td>
    </tr>
    <tr>
      <td>タイトル2です</td>
      <td>本文2です</td>
      <td>追記その2です</td>
      <td>全部同じ</td>
    </tr>
  </table>
</body>
```